



MBT NEWS LETTER

第208号
'23/05/18

梅田研究教授が参加の北海道沼田町での健康・見守り支援事業 “家庭電力データの活用が健康見守りや行動変容の促進に有効” 5月16日、東京で実証実験成果を報道発表



(下写真) 発表会に参加の、左から酒井正充氏、梅田智広氏、横山茂氏

- ・奈良医大発ベンチャー企業のMBTリンク(株) (代表取締役社長：梅田智広氏) と東京電力グループの(株)エナジーゲートウェイ (代表取締役社長：酒井正充氏) は、2019年から北海道沼田町 (町長：横山茂氏) の協力を得て、約3年間にわたりICT活用による地域住民見守りシステムの実証実験を進めてきました。
- ・その中で、生体データを使うことなく家庭の電力メータに取り付けたモニタリングセンサーのデータ活用で、住人の健康を見守り、行動変容を促すのに有効である、という成果を、5月16日、東京の大手町で、約100人の報道や業界関係者に向けて発表しました (左上写真)。
- ・実証実験では家庭のエアコン、電子レンジ、洗濯機、TVなどの使用で変化する電力データを活用し、その使用データの特徴から、医学的知見を活かしながらデータ相互の相関関係や意味を解析し、ライフスタイルを、①生活スコア、②食事スコア、③活動スコア、の3つのカテゴリーに区分し1分単位でスコアを計測して、発生頻度、周期性、実施時間、などを過去データを基に客観的評価を行いスコア化、スコア点数が大きいほど規則正しい健康的なライフスタイルであるとして評価するものです。
- ・今後、自治体や企業等との見守り事業展開を予定しています。

沼田町での実証実験を紹介する関連動画です。

<https://youtu.be/n4WVVp2Tc20>



5月16日 NHK大阪放送局の「おはよう関西」で MBTの新製品開発活動が紹介されました！

- ・以下の内容が約5分ほどの放送時間にまとめられて紹介されました。

奈良で地域医療と地場の産業がタッグを組み新たな製品を生み出す動きが活発化している。ひとつの例が靴下メーカー。価格競争や円高で苦境から抜け出そうと医療品の事業を手がけることを決め、奈良医科大学と連携。専門の医師らの助言を受けて特殊な編み方の手袋を開発した。指の部分が手の甲側に反り返る工夫を施し、手指の力が弱まるパーキンソン病の患者のリハビリに役立てようとしている。(出所；NHKおはよう関西 ホームページより抜粋)

発行

(一般社団法人) MBTコンソーシアム、(公立大学法人) 奈良県立医科大学
奈良県橿原市四条町840番地研究推進課内 担当 塩山
TEL : 0744-29-8853 (直通)、FAX : 050-3164-5598、Email: mbt@mbt.or.jp